国東市
国民健康保険

データヘルス計画を策定しました

高齢化の急速な進展や医療の高度化などによって、国全体の医療費はますます増大しています。生活習慣病などの疾病予防や健康寿命の延伸を進め、医療費の増加を緩やかにしていく取り組みが強く求められています。国東市国民健康保険（国保）では、健診データやレセプト（診療報酬明細書）データの情報を分析し、潜在する健康課題や地域特性、予防効果が大きく期待できるものを把握したうえで、今後取り組むべき対策や保健事業を示したデータヘルス計画（平成27年度～平成29年度）を策定しました。

データヘルス計画がめざすもの

データヘルスって何だろう？

効果的な保健事業を可能に

健診データやレセプト（診療報酬明細書）データ情報を分析活用することで、加入者皆さんの疾病予防や健康づくりを効率的・効果的に行えるようになります。

これが、データヘルス計画の最大の特徴です。

治療から予防へ

病気にならないように、また病気になっても重症化しないように生活習慣の改善を心がけることで、健康寿命を延ばすことができます。

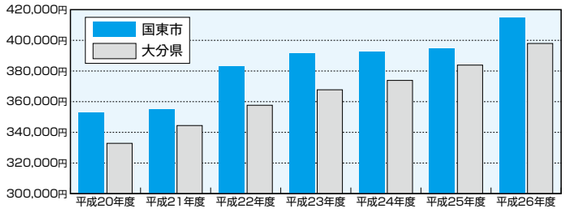
さらに、増加し続ける医療費の伸びを緩やかにしていくことができます。

データを分析して分かった生活習慣病予防の必要性

① 一人あたり医療費の推移について

平成26年度の一人あたり医療費は414,759円で県内ワースト５位という結果でした。平成20年度から調べてみても年々増加していることが分かります。

※大分県の一人あたり医療費は、平成24年度の実績で全国ワースト３位でした。

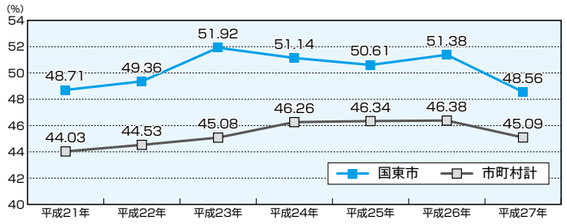


出典：大分県国保連合会医療費分析支援システム

② 生活習慣病有病率の推移について

平成21年度から平成27年度までの５月診療分の医療費を調査したところ、約50％の方が生活習慣病で受診していることが分かりました。

※生活習慣病とは…生活習慣の積み重ねが原因となって発症する病気の総称です。（糖尿病・高血圧症　など）

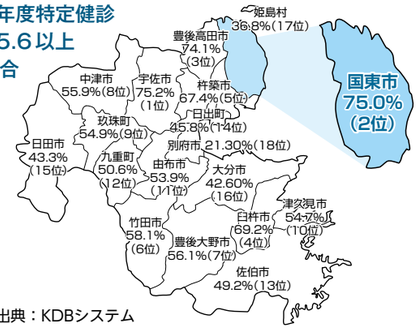


出典：大分県国保連合会生活習慣病の実態

③ 特定健診受診者血糖状態（HbA1c値）について

HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）は、血液検査によってわかる数値で、糖尿病の診断に使われています。特定健診においてもHbA1cは測定されており、糖尿病予備群と言われるHbA1c5.6以上の方が、平成26年度で約75％を占めていました。これは、県平均49.4％と国平均53.0％を大きく上回り、県内ワースト２位という結果です。

平成26年度特定健診
HbA1c5.6以上
対象者割合



出典：KDBシステム

医療費データを分析した結果、今後の基本施策について

１．特定健診受診率を向上させるため、40歳代の未受診者及び若年者（40歳未満）の動向を把握するとともに継続未受診者の受診勧奨等を確実に取り組みます。
→キーワード：40歳代及び若年者の継続受診の推進

２．特定保健指導対象者に対し、実施率60％を目指すとともに担当職員の保健指導能力の向上を図り、生活改善を促します。
→キーワード：HbA1cに着目した保健指導の実施

３．特定健診の結果、要医療と判断された方が確実に受診するように支援し、生活習慣病の重症化予防を推進します。
→キーワード：糖要医療勧奨者への受診勧奨の実施（糖尿病の重症化予防）

４．国東市民の健康意識の向上に向けて、健康づくりの普及を進めます。
→キーワード：ポピュレーションアプローチ（ケーブルテレビ等利用した啓発活動）

効果的な保健事業を実施していきます

訪問健康相談事業

市民健康課国保年金係に健診結果の説明や栄養指導等を行う専門職（保健師・管理栄養士・看護師）を配置し、訪問による健康支援・予防指導を積極的に行い、「健康と生活」の質をサポートしていきます。

「訪問日」は、電話予約が可能です

国保ケーブルテレビ放送の実施

生活習慣病予防になる「簡単にできる野菜レシピ」を考案し、実際に調理している様子を番組にして、定期的に放送します。

また、番組の途中に医療情報等も提供していきます。

▲番組の様子

ジェネリック医薬品差額のお知らせ

【対象者へ郵送します】

医療費適正化のための情報提供として、使用している薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合の軽減額を年３回（７月・11月・３月に）お知らせします。

ジェネリック医薬品を希望する場合、医師や薬剤師に相談してみましょう。

特定保健指導

特定健診の結果、生活習慣の改善が必要と判定された方へ、保健師・管理栄養士・看護師によるサポートを行います。

HbA1cの数値に着目し、健診結果データから迅速に対象の方を抽出し、「特定保健指導」のご案内（郵送・電話）をします。

※「特定保健指導」は、現在の健康状態やライフスタイルに応じて対応します。

国東市国民健康保険データヘルス計画は、国東市ホームページでご覧になれます。

●国民健康保険被保険者証（保険証）を発送します

４月１日から使用する「国民健康保険被保険者証（保険証）」を、３月18日以降に「簡易書留郵便」で発送します。新しい保険証の色は**薄い青色**です。

現在使用している保険証（薄い赤色）は、４月１日以降は使用できません。

※「簡易書留郵便」…郵便局の配達員が郵便物を直接手渡しする方法で、受け取りには受領印等が必要となります。ご不在で受け取れなかった場合は不在連絡票をご覧ください。

【問合先】市民健康課　国保年金係　☎0978-72-5166